

## 第 57 卷 PDF 読本



武豊線武豊駅



ひたちなか海浜鉄道  
殿山駅



**武豊線（大府～武豊）**

**豊橋鉄道（新豊橋～三河田原）**

**岳南電車（吉原～岳南江尾）**

**ひたちなか海浜鉄道（勝田～阿字ヶ浦）**

2025 年 4 月 12 日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 武豊線（大府～武豊；営業キロ 19.3 km）・・・・・・7

第2章 豊橋鉄道（新豊橋～三河田原：18.0 km）・・・・・・36

第3章 岳南電車（吉原～岳南江尾：9.2 km）・・・・・・65

第4章 ひたちなか海浜鉄道（勝田～阿字ヶ浦：14.3 km）・・・・97

総営業キロ 60.8 k m

< 武豊線 >



< 豊橋鉄道 >



<岳南電車>



<ひたちなか海浜鉄道>



## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の武豊線・豊橋鉄道・岳南電車・ひたちなか海浜鉄道の旅（総営業キロ 60.8 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 67 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

(2010 年 7 月～2025 年 4 月で踏破)

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

## <ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅”PDF読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次のPDF読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第15編（日本横断歩き鉄の旅）

**湖西線・参宮線  
武豊線・御殿場線**



伊勢神宮  
鳥羽港



2021年2月15日 樫原 勉

第40編（日本横断歩き鉄の旅）

**琴電・嵐電・叡電・江ノ電  
遠州鉄道・豊橋鉄道**



金刀比羅宮本宮

2022年10月22日 歩く鉄道作家 樫原 勉

## 第1章 武豊線（下見）

2019年3月23日（土）から一泊二日の旅は、次のプランで臨む。二日とも天候には恵まれたが、風が強く肌寒く感じる二日間であった。それ故、桜の開花を見届けることができず残念。

しかし、下見を無事完了の他、鉄道つたい歩きの全駅舎にも立ち寄ることに成功。これで天や神のご加護を得て、通算営業キロは1万85km（活動日数498日）となる。感謝あるのみ。



### 第1節 旅プラン

○3月23日（土）

家内に中央林間まで送ってもらう。

中央林間7時35分、長津田7時52分の電車で新横浜まで向かう。

ひかり505号 新横浜（8時52分） → 豊橋（9時57分）

飯田線 豊橋（10時12分） → 豊川（10時24分）

新城行きの快速のため、川に挟まれた下地駅と船町駅には停車せず。

飯田線つたい歩き（豊川稲荷参拝後）：豊川～牛久保～小坂井～下地～船町～豊橋（営業キロ8.7km）

東海道本線 快速 豊橋（15時20分） → 大府（15時57分）

武豊線 大府（16時17分） → 半田（16時45分）

第74回わいわい会下見



名鉄イン知多半田駅前泊 0569-23-3434

○3月24日（日）

半田（7時57分）→ 武豊（8時5分）

武豊線つたい歩き：武豊～東成岩～半田～乙川～亀崎～東浦～石浜～緒川～尾張森岡～大府（営業キロ 19.3 km）

東海道本線 快速 大府（15時18分）→ 豊橋（15時57分）

こだま 664号 豊橋（16時8分） → 新横浜（17時58分）

## 第2節 旅日記

<その1>飯田線つたい歩きの巻

飯田線の旅日記割愛

第74回わいわい会の宿泊先”名鉄イン知多半田駅”や宴会・反省会の会場である”天麩羅天畔”の予約を確認できた。また、ホテル、宴会場、そして観光地の関係図を掌握できた。さらに、ホテルまでの送迎や当日の荷物の預かりなども確認できたからだ。そして、2次会の会場の候補も頭に描くことができた。下見の重要性を改めて感じる一日でもあった。初めての試みであったが、有言実行してよかった。数人の関係者に下見情報をSMSしたところ、タイムリーに感謝のメッセージをもらい感激また感激。

今日の歩きを通じて、2017年11月4日（土）に歩いた際は、本長篠駅から豊橋までの32.1kmを一日で歩けると思ったが、この区間は相当難しいと悟る。特に、豊川から豊橋間においては、名鉄の並走や豊川放水路・豊川が前方を遮り難しいと（相当距離の迂回を余儀なくなれる）。加えて、明るいうちでないと絶対歩けるコースではないと。



下地駅と船町駅は秘境駅に相当する位踏破に骨が折れた。しかし、今では廃駅となっている函館本線の姫川駅・桂川駅・東山駅に比べれば比較にならない程簡単ではあるが(笑い)・・・。

<その2>下見の巻



JR 半田駅

2019年3月23日(土)～24日(土)にかけ、JR半田駅、天麩羅”天畔”(宴会・反省会会場)、観光地、そして名鉄イン知多半田駅前(宿泊先)のアクセスを確認する。JR半田駅から天畔にかけ、いくつかの食事処があった。天畔に面して半田運河が広がっていた。運よく天畔を中心に蔵や半田運河などの観光地があった。半田駅前にはSL見学・鉄道資料館(第1・第2・第3日曜日は10時よりオープンとあった)がある。一方、JR半田駅から名鉄知多半田駅にかけ、商店街が広がっていた。名鉄インは名鉄知多半田駅に面してあった。



名所旧跡

23日の夕食は、下調べを終え、ホテルから再度天畔に出向き、美味しい天麩羅を頂きながら、地酒や越乃寒梅などの飲み比べを堪能する。観光スポットなどを送付頂いた杉浦さんにも出会える。一方、ホテルでも資料を送付頂いた赤松さんにも出会い、思い出に残る一日となった。



半田運河

鉄道資料館

インターネットからの情報からではあったが、結果的には第74回わいわい会は財布や足にもやさしいコースを選択できたような錯覚をし、安堵また安堵。後は各位から、「いい歩きコース、いいホテル、いい食事処、そしていい観光地などであった」と反省会の席で言われたいものだ。



天畔

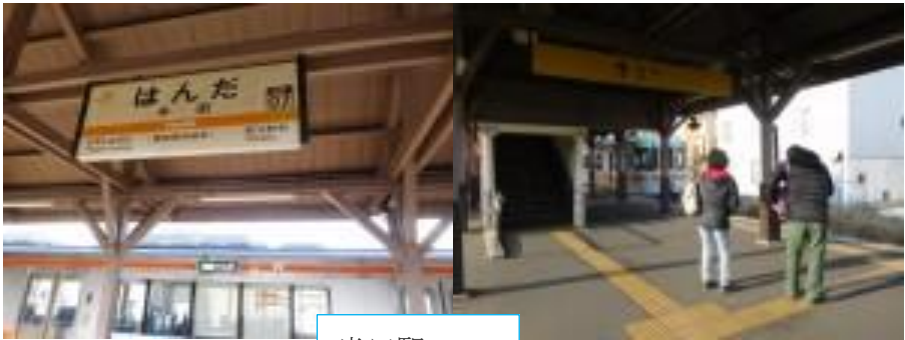


ホテル界限



ホテル6階から（名鉄知多半田駅）、ホテルの一室と通路

<その3>武豊線つたい歩きの巻



半田駅

2019年3月24日（日）、知多半島を走る武豊線（武豊～大府：19.3 km）つたい歩きに挑戦する。このうち、武豊～東成岩～半田（4.7 km）は、来る7月開催予定の第74回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）で参加メンバーと一緒に歩く際の下調べ。

4時半位に起床、6時過ぎにロビーで朝食を摂り、7時15分位までホテル（602号室）で寛ぐ。7時20分チェックアウトし、ホテル界隈の風景をデジカメに収めながら、JR半田駅に向かう。運悪く30秒位の時間差で7時28分の武豊行き電車に乗り遅れる。次の電車は7時57分発のため、約30分のロスタイムが生じる。数年前、肥薩おれんじ鉄道でも数秒の差で電車が発車したのを思い出す。オレンジ鉄道は1時間に1本の割合、武豊線は30分の1本なので少しは、ロスタイムが少なくて助かった。



#### 武豊駅

武豊線の各駅到着時間は次の通り。武豊（8時7分）～東成岩（9時2分）～半田（9時46分）～乙川（10時27分）～亀崎（11時12分）～東浦（12時21分）～石浜（12時58分）～緒川（13時32分）～尾張森岡（14時）～大府（15時2分）



#### 東成岩駅、半田駅、半田運河（ウォーキングのメンバーと出会う）

武豊線に近づくや否や、工場の煙突が目に入った。武豊駅前には高橋熙君之像がめに貼った。駅前を種々のアングルから記念写真を撮影し、東成岩駅を目指す。8時18分、ヒジリの花壇前を通過。8時19分、第3師崎街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。

当初プランを考えていたビジネスホテルや宴会場などが目に入る。踏切を渡るや否や23番札所の蓮花院があった。8時28分、半田への道路標識があった。8時39分、橋を渡る。その先に丸亀製麺(8時42分)があった。8時48分、有楽8丁目の交差点にさしかかる。ここで、大事なメモ帳がないのに気付く。一瞬青ざめる。数分前にあったのを思い出し、メモ帳探しに4分位聞き返す。8時53分、道路にメモ帳が横たわっていた。安堵また安堵。東成岩駅(9時2分到着)は、メモ帳をロストに気付いた有楽8丁目の交差点を右折し、線路に近づいた先にあった。



東成岩駅への路、有楽8丁目交差点(メモ帳のロストに気付く!!)

駅前には沢山の自転車が停められていた。9時11分、万歩計で39歩ある昭和橋(神戸川)を渡る。川に沿ってベンチがあった。9時31分、第3半田街道踏切を横切り、鉄道の右側となる。武豊行きの電車が踏切を通過して行く。9時40分、山之神社前を通過。半田駅には9時46分到着。9時52分、鉄道資料館前を通過。10時4分、半田運河沿いを歩く。10時10分、ウォーキングをしているグループに对面。10時10分、半田大橋を渡る。大型店舗が続く路筋を歩く。鉄道に近づく道筋はなし。それ故、500m行き過ぎる結果となる。10時21分、乙川踏切を横切り鉄道の左側となる。踏切を渡ると、先程地元の方に聞いた乙川天満宮がある。



タンポポと桜

開化していない桜がある乙川駅には、10時27分到着。10時38分、入水神社前を通り、亀崎駅を目指す。10時49分、第1半田街道踏切を横切ろうとするが、パスする。11時2分、平地踏切を横切り鉄道の右側となる。11時12分、亀崎駅に到着。この駅前も桜並木があった。丁度電車がやってくる。11時27分、亀崎北浦交差点を通過する。11時56分、ボールペンのロスト気付く。安全のために持参した予備のボールペンが効果を発揮する。田園地帯が広がる。12時53分、東浦の道路標識を目にする。11時58分、半田市から東浦町に入る。12時21分、東浦駅に到着する。12時38分、タンポポをデジカメに収める。12時58分、石浜駅に到着する。この駅で上下線の電車が離合する。

13時、開化している河津桜(?)前を通過。13時16分、障戸橋(明德寺川)を横切る。13時29分、高架したJR線下を潜り、鉄道の右側となる。少し行った先で潜り、左側となる。13時32分、緒川駅に到着。13時43分、宮戸橋(岡田川)を横切る。13時45分、宮戸橋交差点に到達。道路標識には大府3km、名古屋24kmと記されてあった。14時、尾張森岡駅に到着。踏切に面してあった。14時11分、菜の花畑前を通過。14時20分、東浦町から大府市に入る。56歩ある砂瀬川(新砂瀬橋)を横切る。14時25分、創立70周年を迎えた大府高校前を通過。ここから誤って20分位ロスタイムがある。14時53分、大府駅への交差点に到達。14時53分、人間環境大学がある。その先に江端大橋(66歩)がある。大府駅には15時18分到着。駅前には健康都市の表示があった。



乙川駅、亀崎駅、東浦駅

本日もメイクドラマがあった。一つは、東成岩駅に向かう際、有楽8丁目の交差点で大事なウォーキングメモ帳のロスト(8時48分)に気付いたこと。しかし、今回も5分位歩いた先で気づき、また無事メモ帳を回収できホットする。歩きの当初もこのような体験をしたことがあるが、無事トラブルを解消できた。



石浜駅

緒川駅

尾張森岡駅

私は、記録に夢中する余り、持参物をよくロストする。その代表的事例が東海道本線の関ヶ原界隈で財布と青春 18 きっぷをロストしたことだろうか。もう一つは宗谷本線の豊富駅界隈で iPod をロストしたこと。何れも地元の警察署に紛失届をしたが回収には至らなかった。万歩計などは数えきれない位、ロストしている。今回のロストは、ボールペンとペットボトルとなった。もしかすると 5 回に一度の頻度で何か落としているかも知れない。何れにしても、おおらかな気持ちで、身体に及ぶ被害がなければよしとしている。



大府高校（元巨人軍の榎原投手の母校：創立 70 周年の垂れ幕あり）

大府駅

二つ目は、大府駅への路を 15 分位行き過ぎたことである。このようケースは多々あり、簡単な駅程行きミスが多発する傾向にある。一例が函館本線の石谷駅。目の前にあるのを通り過ぎた。

武豊線はメイクドラマに遭遇し、想定より1時間から1時間半位踏破するのに時間を費やしたが、山や川といった障害物がなく、平坦な道筋のため歩きやすかった。昨日の飯田線とは好対照であった



豊橋駅、祝杯！！

大府駅には15時2分に到着し、無事目標が達成しホットする。また、当初の予定のように2分割（武豊～半田、半田～大府）ではなく、武豊線を一気に歩いてよかった。新幹線の中でいつものように祝杯を上げながら家路に向かう。乾きものをつまみにしながら、ビールと日本酒での祝杯は、自分への褒美で、最高の気持ちにさせてくれる。これがあるから旅はやめられない。充実した二日間であった。天や神に感謝あるのみ。自宅到着は19時15分。本日の営業キロは19.3km、万歩計は44,131歩だった。



新富士駅からの富士山



<武豊線のマップ>

